



いちき串木野市 社協だより

編集・発行
社会福祉法人
いちき串木野市社会福祉協議会
いちき串木野市新生町183番地
串木野高齢者福祉センター内
☎0996-32-3183



令和6年度赤十字活動資金報告

いちき串木野市地区実績額(R6.6.14現在)

4,134,330円

本年度も住民の皆様をはじめ、各自治会及び赤十字奉仕団のご協力をいただき、寄せられた会費及び活動資金は、総額**4,134,330円**となり、全額を日赤鹿児島県支部へ送金いたしました。皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。国内外で苦しんでいるひとを救うため、日本赤十字社が行う人道支援活動は、皆様からのご寄付によるご支援で行われています。継続的なご寄付が、「いざ」というときの迅速で最適な支援や、普段からの備えを可能にします。

また、この活動資金によりいちき串木野市内で火災、床上浸水等の被害を受けた世帯へ、備蓄している救援物資をお届けしています。



日本赤十字社鹿児島県支部の石川県七尾市での支援活動

令和6年能登半島地震災害義援金報告

いちき串木野市地区(R6.5月末現在)

2,740,429円

ご協力ありがとうございます。

ご寄付いただいた義援金は、日赤鹿児島県支部を通じて、全額を被災都道府県に設置される義援金配分委員会へお送りし、市区町村等の自治体から、被災地の方々の生活支援(金銭支援)に役立てられます。

※義援金が日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。

赤十字活動資金と義援金 何が違うの？



活動資金とは赤十字活動を支援するお金

被災された方のニーズに対して即時に様々な支援(災害時の医療救護、心のケア、救援物資の配布等)を行います。平時には、災害に備えるための訓練や救援物資の備蓄、防災教育、復興支援等にも取り組めます。

義援金とは被災された方へ贈るお金

被災された方の数などの情報を時間をかけて正確に把握し、寄せられた義援金全額を都道府県の設置する配分委員会により被災状況に応じて配分額を決定、市区町村を通じて被災された方々に金銭で支援されます。

基本理念「あなたらしく笑顔で暮らせる福祉のまちづくり」～よりそう、ささえあう、つながる～

社会福祉法人 いちき串木野市社会福祉協議会 ☎ 代表 (0996) 32-3183

いちき串木野市ボランティアセンター／いちき串木野市共同募金委員会／日本赤十字社いちき串木野市地区
／居宅介護支援事業所／デイサービス事業所／心配ごと相談所／串木野高齢者福祉センター
／市来高齢者福祉センター／働く女性の家 ☎(0996)32-7130

【本所】 いちき串木野市新生町183番地 串木野高齢者福祉センター内

【市来支所】 いちき串木野市湊町1丁目102番地 市来高齢者福祉センター内 ☎(0996)36-4558

【ホームページ】 <http://www.shakyo.or.jp/hp/1743/>



【社協会員募集のお願い】

社会福祉協議会は、住民の皆様地域福祉活動への参加、協力、支援をしていただく会員制度で成り立っています。一般会員(一世帯200円以上)、特別会員(一団体5,000円以上)です。

8月に自治公民館宛の文書にて、ご案内いたします。

ご理解の上、ご加入いただき、ご支援をお願いいたします。

社協の福祉サービス事業 (令和5年度事業実施報告)

《地域福祉活動を支援しています》

- 16地区社協(地区まちづくり協議会)に福祉部を設置し、ひとり暮らし高齢者等、日常生活に支援が必要と思われる方への生活支援等を推進、助成。
- 子育てサロンを行っている1団体に助成。
- 高齢者209名に敬老祝い金を贈呈。
- ひとり暮らし高齢者を対象とした手作り給食会4カ所に助成。
- 金婚夫妻121組に御祝状、記念品を贈呈。
- バス停や公園等にベンチ7基設置。
- 生活支援コーディネーターを配置し203件の相談・調査の実施。市協議体会議への参加。
- 高齢者元気度アップ地域活性化事業実施。(個人1,733名、グループ122団体、介護人材139名の登録)
- 自分の判断に不安がある方等への金銭管理等の支援実施。(22名、380回)
- 押重利基金、子ども食堂へ5件助成。
- つどいの場等へぐりんぐりん号(移動販売車)運行実施。(20カ所 延べ利用者数7,794人)
- 安心安全福祉のまちづくり事業 6公民館へ手すり等設置・椅子等備品購入の助成。



福祉体験教室
～市来中学校～



安心安全福祉のまちづくり事業
～椅子の購入費用助成～



食の支援事業
～民生委員による食料仕分けの様子～

《ボランティア事業を推進しています》

(ボランティアセンター設置運営)

- ボランティア登録 個人56名、グループ41団体6,138名
ボランティア相談2,593件・実績2,582件
- 市内公立小中学校全校をボランティア育成事業協力校に指定し福祉教育、ボランティア活動への取り組みを実施。
- 小学生ボランティア体験教室・中学生福祉体験教室出前講座開催
- 高校生ワークキャンプ【宿泊介護体験】(5年度中止) ○ボランティアフェスタ来場者数250名

《在宅介護等サービスを行っています》

- デイサービス事業(通所介護・介護予防日常生活支援総合事業) ○居宅介護支援事業 ケアプラン作成
- 訪問給食サービス事業 虚弱な高齢者等に昼食と夕食を配食し安否確認の実施。
年間実利用者数141名(29,906食)

《低所得者等への資金の貸付を行っています》

- 小口資金貸付(限度額5万円) 1件 ○生活福祉資金の貸付 74件 ※3月末現在の貸付件数

《心配ごと相談事業(無料)を行っています》

- 一般相談・専門相談(弁護士・司法書士・社会保険労務士・税理士)137件

《その他の事業》

- 介護用ベッド・車いすの無償貸与 ○法外援護事業 ○一括指定管理(串木野・市来高齢者福祉センター・働く女性の家) ○共同募金運動 ○赤十字会員増強運動 災害援助 ○かごしま思いやりネットワーク事業
- 食の支援事業735件、1,555人へ配布 ○総合相談(よろず相談等)14件

令和5年度 資金収支計算書 (令和6年3月31日現在)

【収入】 (単位:円)		【支出】 (単位:円)	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
経常活動による収入	142,134,152	経常活動による支出	141,698,508
会費収入	2,177,000	人件費支出	88,748,299
寄付金収入	1,777,415	事業費支出	47,868,805
経常経費補助金収入	22,495,170	事務費支出	1,680,793
受託金収入	52,235,619	利用者負担軽減額	26,280
貸付事業等収入	166,000	貸付事業支出	50,000
介護保険事業収入	62,703,350	助成金支出	3,324,331
受取利息配当金収入	3,433	その他の支出	0
その他の収入	576,165	施設整備等による支出	427,218
施設整備等による収入	900,000	固定資産取得支出	427,218
その他の活動による収入	11,479,136	その他の施設整備等による支出	0
積立資産取崩収入	7,273,772	その他の活動による支出	8,461,524
サービス区分間繰入金収入	4,205,364	積立資産支出	2,037,000
その他の活動による収入	0	サービス区分間繰入金支出	4,205,364
前期末支払資金残高(前年度繰越金)	33,885,029	その他の活動による支出	2,219,160
収入合計	188,398,317	支出合計	150,587,250

収入合計	188,398,317
支出合計	150,587,250
当期末支払資金残高	37,811,067

令和5年度 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	5年度末	勘定科目	5年度末
流動資産	46,854,609	流動負債	12,414,788
現金・預金	36,349,670	事業未払金	7,062,906
事業未収金	10,498,541	その他の未払金	554,790
未収金	0	預り金	24,111
立替金	6,398	職員預り金	1,401,735
		賞与引当金	3,371,246
		固定負債	31,310,070
固定資産	211,490,767	負債の部合計	43,724,858
基本財産	2,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	209,490,767	基本金(一号基本金)	500,000
建物	3	森福祉基金	28,800,000
車両運搬具	3,825,196	国庫補助金特別積立金	2,481,433
器具及び備品	1,619,218	その他の積立金	149,902,408
ソフトウェア	2	次期繰越活動増減差額	32,936,677
森福祉基金(国債)	0		
生活援護資金貸付金	0		
積立資産	178,702,408		
退職手当積立基金預け金	25,309,670		
その他の固定資産	34,270	純資産の部合計	214,620,518
資産の部の合計	258,345,376	負債及び純資産の合計	258,345,376

※令和5年度いちき串木野市社会福祉協議会事業報告書、計算関係書類及び財産目録は、高齢者福祉センターにおいて閲覧することができます。

能登半島の被災地における災害ボランティアの活動

当社会福祉協議会では、ボランティアセンターの機能を持ち、毎年度、個人や団体のボランティア登録を行っています。

このような中で、毎年、我が国のどこかで自然災害が発生しており、その際には災害ボランティアが被災地に駆けつけ、支援を行うことも多く、社協ではこのような方々の災害ボランティアがよりよく機能するように、大規模災害発生時には、災害ボランティアセンターを設置しています。

本市では、現時点では、災害ボランティアセンターを設置するような大規模災害を受けたことはありませんが、有事の際には、災害ボランティアの方々の活躍が必要になります。

今回、当社協にボランティア登録されている災害ボランティアの藤島真紀さんの活動を紹介します。

真紀さんは、これまで宮城、熊本、福岡、広島、佐賀、垂水で災害ボランティア(清掃、泥だし、ゴミの運搬、炊き出し等)を行っており、今回、能登半島については、現地へ3回赴き、支援を行っています。

写真右が真紀さん、左が夫・正道さん



<1回目：3月2日、3月3日>

石川県輪島市町野町で活動。

夫婦(70代)、その子(40代)、その親(90代)が住む家の片づけ支援を行った。内容としては2階の畳にカビが発生しており、2階の窓から畳を運び出す等のことを行った。

<2回目：4月13日、4月14日>

石川県門前で活動。

女性(70代、独居)の2階建ての家のブロック壁の撤去と周辺の掃除を行った。

更に女性(80代)宅の貴重品出しの支援も行った。貴重品出しとは、本人にとっての貴重品を倒壊した家の中から探す支援であり、今回は写真、パソコン、貯金箱、按摩器を探し出した。

<3回目：5月19日>

石川県七尾市で活動。

寺の片づけを行った。寺の中は砂壁になっており、屋内で砂壁が剥がれ落ちていたため、この砂を土嚢に詰める作業を行った。

また、炊き出しをする団体が肉うどんを振舞っており、一緒に100食程度を振舞った。真紀さんは事前に鹿兒島ならではの菓子や袋麺を現場に送っておき、肉うどんと一緒に配った。

善意に感謝します

次の方々から、社会福祉協議会にご寄付をいただきました。ありがとうございます。この寄付は、地域福祉活動やボランティア活動の支援など、身近な福祉のために有意義に使わせていただいています。ご支援をよろしくお願いいたします。 ※届け出人が同意した方だけ掲載してあります。

【一般寄付金】 令和6年3月26日～令和6年6月20日受付分(敬称略)

Table with 2 columns: 寄付者名 (Donor Name) and 寄附金 (Amount). Entry: 中央地区まちづくり協議会女性部会, 5,000円



【香典返し寄付金】 令和6年3月26日～令和6年6月20日受付分(敬称略)

Table with 10 columns: 寄付者名, 故人, 住所等, 寄付者名, 故人, 住所等, 寄付者名, 故人, 住所等. Lists names and addresses of donors and recipients.